



2008年1月10日

報道関係者各位

## トレーディングソフト「マーケットスピード」 無料利用条件の大幅緩和キャンペーンを実施

～「預かり資産30万円以上」または「信用取引利用者」は利用料無料に！～

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、オリジナルで開発・提供をおこなっているトレーディングソフト「マーケットスピード」の無料利用条件を、2008年1月11日（金）から4月10日（木）の3カ月間、大幅に緩和いたします。これにより「マーケットスピード」利用者のさらなる拡大を図り、個人のオンライントレードにおける「マーケットスピード」ブランドをさらに強固なものとしていきたいと考えております。

「マーケットスピード」は2000年5月に「バージョン1.0」をリリースして以来、オンライントレード最強のツールとして、アクティブトレーダーを中心に多くの個人投資家にご利用いただいております。2007年12月現在、月間の利用者はユニークベースで約14万人に達しております。この「マーケットスピード」は、当社との定期的なお取引があるなどの条件を満たすと無料でお使いいただけますが、今回、その無料利用条件を大幅に緩和するキャンペーンを実施いたします。

### ■背景・ねらい

現在、個人投資家の投資ニーズが大きく広がり、従来からネットでの取引が盛んであったアクティブトレーダーに加えて、投資信託等への投資による資産形成を目的とした投資家が急速に増えています。

楽天証券では「みんなの投資」をキャッチフレーズに掲げ、すべての投資家に最適な証券サービスの提供を目指しており、その一環として、より多くの個人投資家に当社の主力サービスである「マーケットスピード」を無料をご利用いただけるよう、無料利用条件の緩和をキャンペーンとして実施いたします。

### ■キャンペーン概要

- 【1】お預かり資産残高（前営業日）を「500万円以上」から「30万円以上」に緩和！
- 【2】お取引の約定実績の対象取引を「過去3カ月」から「過去6カ月」に延長。さらに中国株式も対象に！
- 【3】「信用取引建玉残高1円以上」を無料利用条件に追加。信用取引をお取引中のお客様は、「マーケットスピード」が利用しやすく！
- 【4】無料利用期間は通常の3カ月に加えて、さらに3カ月分をプレゼント！



## ■キャンペーン詳細

キャンペーン期間中は以下の（１）～（７）のいずれかに該当すると、マーケットスピードを3カ月間無料でお使いいただける条件のうち、（１）～（３）について条件を大幅に緩和いたします。さらにキャンペーン終了時（4月11日）に、通常の3カ月間に加えて無料利用期間を3カ月分プレゼントいたします。

マーケットスピード無料利用条件	キャンペーン期間中	通常
(1)お取引の約定実績 <b>条件緩和!</b>	ご利用申請時点で <b>過去6カ月間</b> に、手数料が発生する以下の商品についてお取引(約定)があること。 ・国内株式(信用取引を含む) ・先物・オプション取引 ・米国株式 ・ <b>中国株式</b> ・カバードワラント	ご利用申請時点で過去3カ月間に、手数料が発生する以下の商品についてお取引(約定)があること。 ・国内株式(信用取引を含む) ・先物・オプション取引 ・米国株式 ・カバードワラント
(2)お預かり資産残高(前営業日の資産残高) <b>NEW!</b>	ご利用申請時点で <b>30万円以上</b>	ご利用申請時点で500万円以上
(3)信用取引建玉残高 <b>NEW!</b>	ご利用申請時点で <b>1円以上</b>	条件なし
(4)先物取引建玉残高 (日経225ミニを含む)	(通常と同条件)	ご利用申請時点で1枚以上
(5)オプション取引建玉残高	(通常と同条件)	ご利用申請時点で3枚以上
(6)先物・オプション証拠金残高	(通常と同条件)	ご利用申請時点で6万円以上
(7)はじめてのご利用	(通常と同条件)	はじめて利用申請をおこなう
無料利用期間	通常分3カ月 <b>+さらに3カ月</b>	3カ月

※ 有料でお使いになる際は、15,750円（税込み）／3カ月の利用料が必要です。

### 【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「リスク説明」ページに記載の当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

[「リスク説明」についてはこちらをご覧ください](#)

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会